



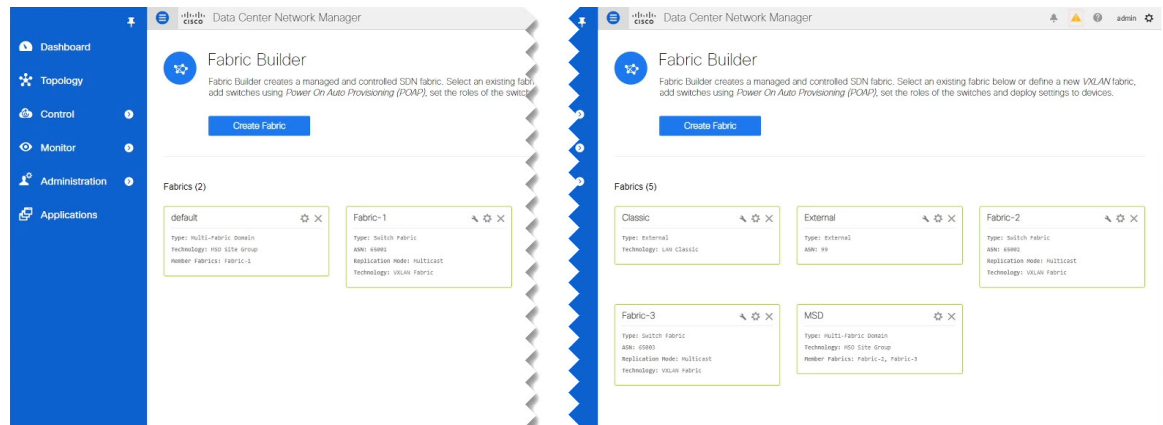
VRFおよびネットワークのブラウンフィールドインポート

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [前提条件 \(2 ページ\)](#)
- [構成のインポートのためのスキーマとテンプレートの作成 \(3 ページ\)](#)
- [DCNM サイトからのスキーマ要素のインポート \(5 ページ\)](#)
- [テンプレートの展開と変更 \(7 ページ\)](#)

概要

次の項では、ブラウンフィールドインポート使用例のシナリオについて説明します。これにより、マルチサイトドメイン (MSD) の一部であるファブリックを含む、既存の DCMM ファブリック設定をインポートできます。また、これらの設定を、Nexus Dashboard Orchestrator を使用して、単一の場所から、複数のグリーンフィールドまたはブラウンフィールドファブリックにわたって拡張できます。同じ使用例が、[Cisco DCNM VRF](#) および [Nexus Dashboard Orchestrator](#) を使用したネットワーク設定のビデオデモで示されています。

この章の例では2つの異なる DCNM コントローラを使用します。最初の DCNM の Fabric-1 は単一のファブリックです。Fabric-2 と Fabric-3 は MSD の一部であり、2番目の DCNM によって管理されます。



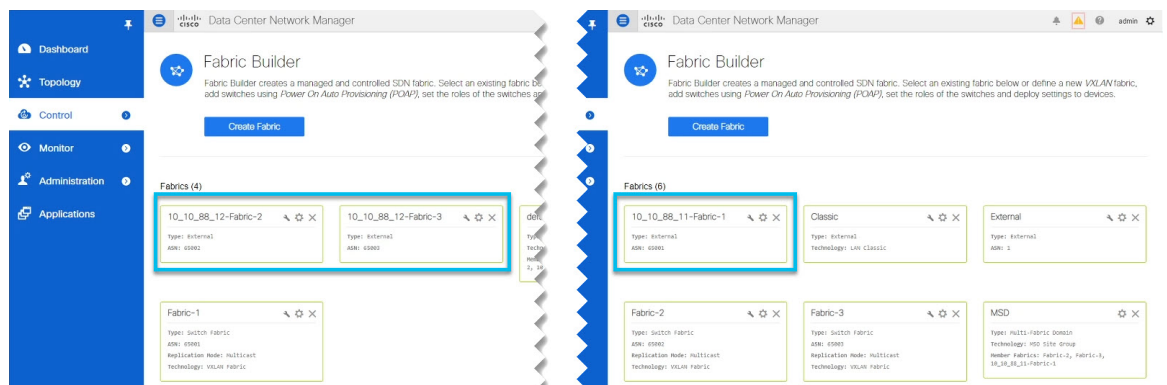
次の項では、既存の設定をインポートし、別の DCNM で管理されるファブリック間で拡張する方法と、新しい VRF およびネットワークを展開する方法について説明します。

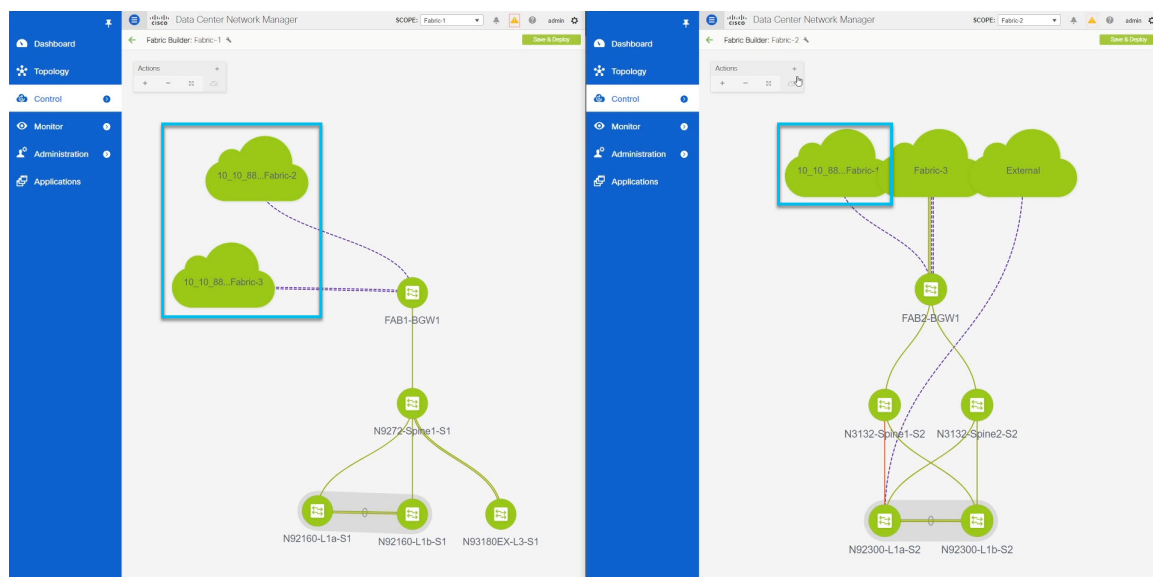
前提条件

環境内の既存の DCNM ファブリックから VRF とネットワークをインポートして管理する前に、次のものがが必要です。

- [Cisco Nexus Dashboard Deployment Guide](#) および [Cisco Nexus Dashboard Orchestrator Deployment Guide](#) の説明に従って展開され、インストールされた Nexus Dashboard クラスタと Nexus Dashboard Orchestrator サービス。
- Nexus Dashboard にオンボードされ、Nexus Dashboard Orchestrator GUI で管理できる既存の DCNM ファブリック（[サイトの追加と削除](#)を参照）。
- [Cisco DCNM サイトのインフラの設定](#)の説明に従って、サイト間インフラストラクチャを設定して展開します。

上記の「概要」セクションに示されている例のファブリックを展開すると、すべてのファブリックのインフラ設定を構成した後、各 DCNM に展開されたサイト間接続が表示されます。





構成のインポートのためのスキーマとテンプレートの作成

このセクションでは、スキーマとテンプレートを作成する方法について説明します。その後、既存の設定をそれらにインポートし、新しい設定を作成します。

始める前に

- **前提条件 (2 ページ)** で説明されている前提条件を確認し、完了している必要があります。

ステップ 1 Cisco Nexus Dashboard Orchestrator の GUI にログインします。

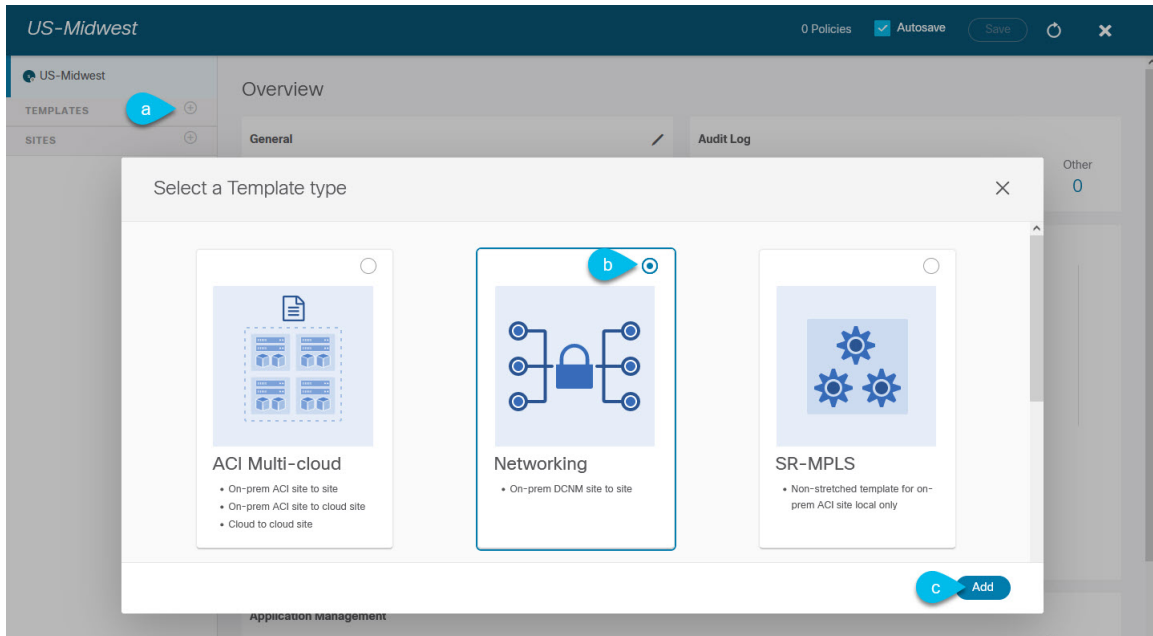
ステップ 2 スキーマを新規作成します。

- 左側のナビゲーションメニューで、[アプリケーション管理 (Application Management)] > [スキーマ (Schemas)] を選択します。
- [スキーマ (Schema)] ページで、[スキーマの追加 (Add Schema)] をクリックします。
- スキーマ作成ダイアログで、スキーマの [名前 (Name)] と説明 (オプション) を入力します。

デフォルトでは、新しいスキーマは空であるため、1 つ以上のテンプレートを追加する必要があります。

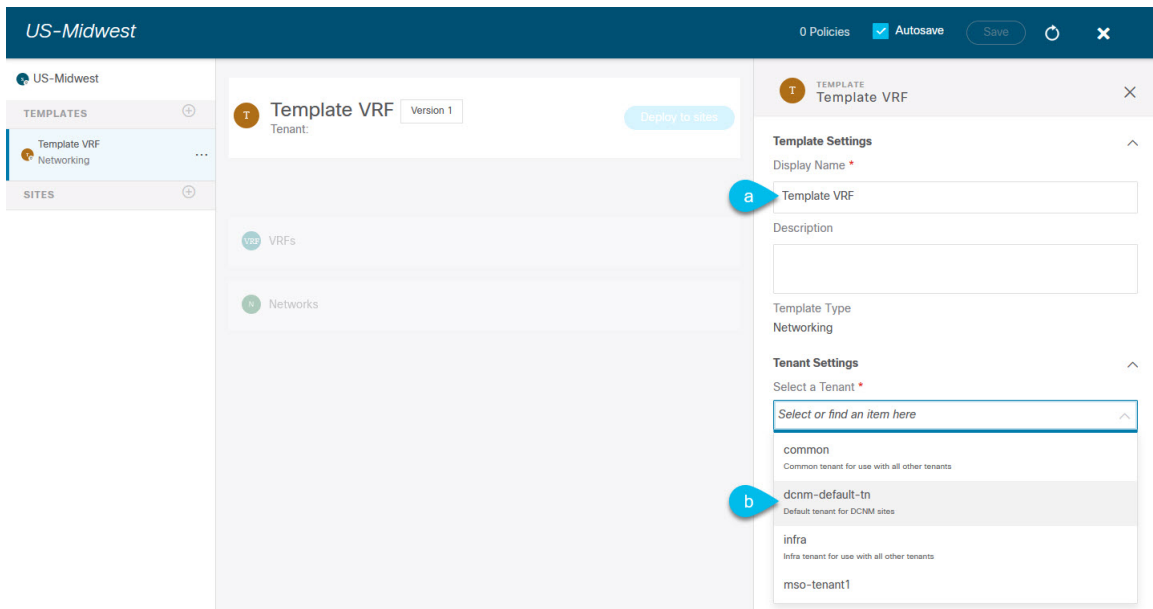
ステップ 3 テンプレートを作成します。

VRF に 1 つとネットワークに 1 つの 2 つのテンプレートを作成することをお勧めします。次の 2 つのステップでは、テンプレートを作成する方法を説明します。



- 左側のサイドバーの [テンプレート (Templates)] で、[+] 記号をクリックして新しいテンプレートを追加します。
- [テンプレート タイプの選択 (Select a Template type)] ウィンドウで、テンプレートタイプとして [ネットワーク (Networking)] を選択します。
- [追加 (Add)] をクリックしてテンプレートを追加します。

ステップ 4 テンプレートの名前とテナントを指定します。



- 右側のサイドバーで、テンプレートの [表示名 (Display Name)] を指定します。
- [テナントの選択 (Select a Tenant)] ドロップダウンから、`dcnm-default-tn` テナントを選択します。

このテナントは、DCNM サイトのオブジェクトと設定を定義するために、デフォルトで NDO で作成されます。

ステップ 5 以前の 2 つの手順を繰り返して、2 つ目のテンプレートを作成します。

このリリースでは、各スキーマ内で VRF とネットワーク用に個別のテンプレートを作成してから、最初に VRF テンプレートを展開し、次にネットワークを含むテンプレートを展開することをお勧めします。このようにして、ネットワーク構成をサイトにプッシュするときに、ネットワークに必要な VRF がすでに作成されています。

同様に、複数のネットワークと VRF を展開解除する場合は、最初にネットワーク テンプレートを展開解除してから、VRF テンプレートを展開解除することをお勧めします。これにより、VRF が展開解除されたときに、VRF をまだ使用している既存のネットワークとの競合が発生しなくなります。

ステップ 6 スキーマビューの右上隅で、**[保存 (Save)]** をクリックしてスキーマとテンプレートを保存します。

設定をインポートする前に、作成したスキーマとテンプレートを保存する必要があります

DCNN サイトからのスキーマ要素のインポート

ここでは、既存のファブリックから設定をインポートする方法について説明します。

始める前に

- 前のセクションで説明したように、テンプレートを既存のファブリックに関連付ける必要があります。

ステップ 1 メインペインで**[インポート (Import)]** ボタンをクリックし、インポート元の**[サイト (Site)]** を選択します。

インポートできるのは一度に 1 つのファブリックからなので、各ファブリックに対してこれらの手順を繰り返します。

ステップ 2 開いた **[<site-name>からのインポート]** ウィンドウから 1 つまたは複数の VRF を選択します。

Import from Fabric-2		×
POLICY TYPE	<input type="checkbox"/> b <input type="checkbox"/> INCLUDE RELATIONS	🔍
VRF	0 out of 1 a <input checked="" type="checkbox"/> CORP-11	
NETWORK 2 out of 4		
	<input type="checkbox"/> CORP-1	
	<input type="checkbox"/> ENG-1	
	a <input checked="" type="checkbox"/> ENG-11	
		c Import

- a) インポート画面で、既存のオブジェクトのすべてまたは一部を選択できます。

上記の例では、ENG-11 および CORP-11 ネットワークを、MSDの一部である Fabric-2 からインポートします。

(注) Nexus Dashboard Orchestrator にインポートするオブジェクトの名前は、すべてのサイトにわたって一意にする必要があります。重複する名前を持つ別のオブジェクトをインポートすると、スキーマ検証エラーとなり、インポートに失敗します。同じ名前のオブジェクトをインポートする必要がある場合は、先に名前を変更してください。

- b) [リレーションを含む (Include Relations)] ボックスがオフになっていることを確認します。

VRF を個別に 2 番目のテンプレートにインポートします。

- c) [インポート (Import)] をクリックしてオブジェクトをインポートします。

ステップ 3 このステップを繰り返して、ほかのファブリックからネットワークをインポートします。

インポートしたサイト (この例の Fabric-2) の下でテンプレートを選択する場合、ネットワークはそのサイトからインポートされたかのように、スイッチとポート構成がすでに作成されています。ただし、同じネットワークが存在する別のファブリック (Fabric-3) でテンプレートを選択した場合、スイッチ設定は空になります。

インポートしたネットワークのインターフェイス設定を取得するには、他のファブリックから同じネットワークを再度インポートします。

ステップ 4 2 番目のテンプレートを選択し、前の 2 つの手順を繰り返して、必要なすべての VRF をインポートします。

ベストプラクティスとして、テンプレートの1つを使用して、サイトからVRF構成をインポートし、もう1つのテンプレートを使用してネットワーク構成をインポートします。

テンプレートの展開と変更

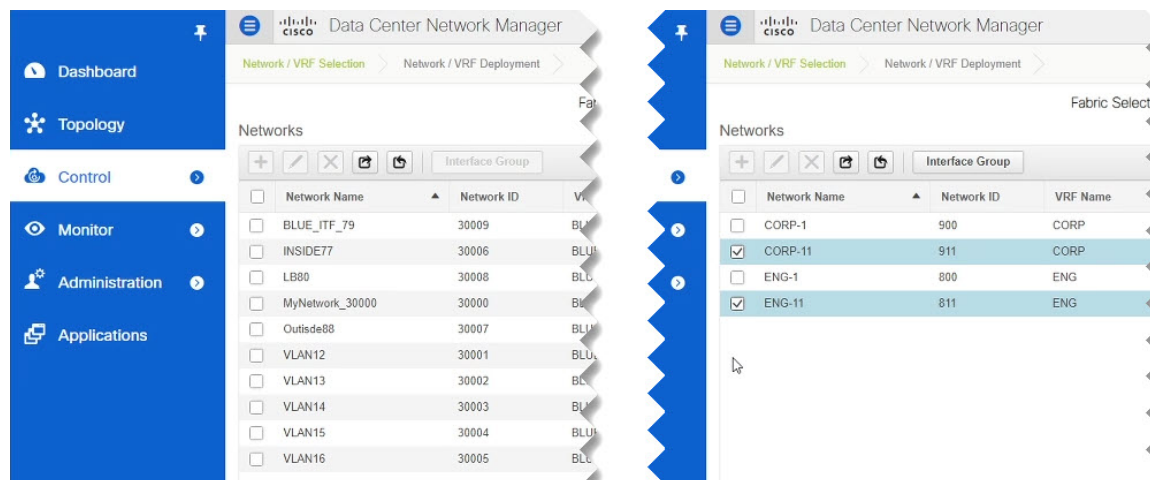
このセクションでは、インポートされた設定を、設定がまだ存在しないサイトに展開する方法について説明します。

始める前に

前のセクションの説明に従って、設定をインポートする必要があります。

ステップ1 左側のサイドバーで、展開するテンプレートを選択します。

同じ例に従い、DCNM UIを使用して、Fabric-2 と Fabric-3 からインポートしたネットワークとVRFが Fabric-1 に存在しないことを確認します。



ステップ2 テンプレート編集ビューの右上で、[サイトに展開 (Deploy to site)] をクリックします。

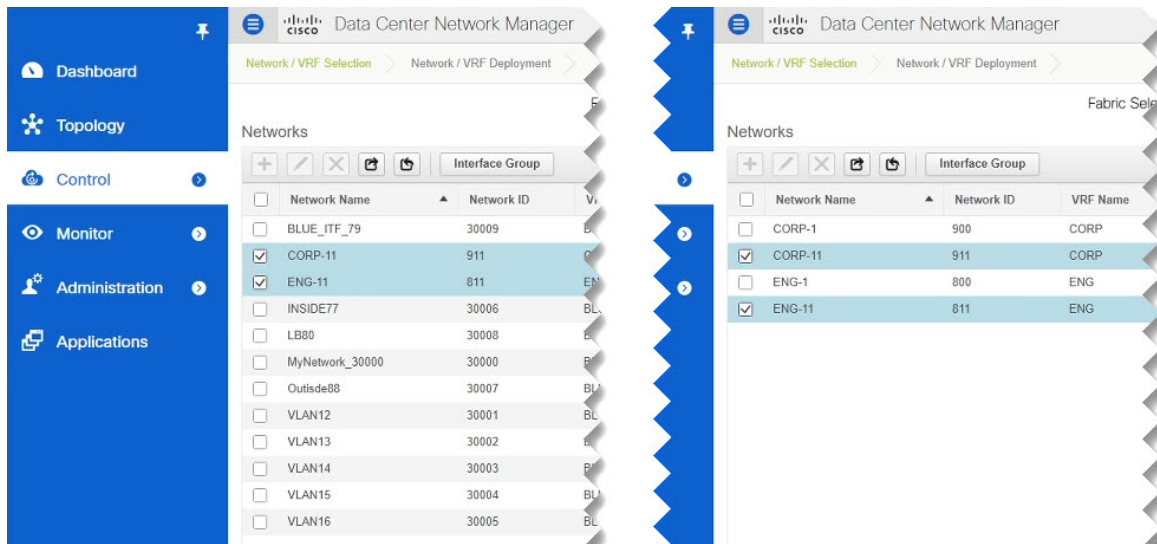
[サイトに展開 (Deploy to Sites)] ウィンドウが開き、展開するオブジェクトの概要が表示されます。

ステップ3 [展開 (Deploy)] をクリックして、新しいテンプレートを展開します。

このテンプレートを初めて展開するので、[サイトに展開 (Deploy to Sites)] のサマリーに、サイトに展開される設定の違いが表示されます。

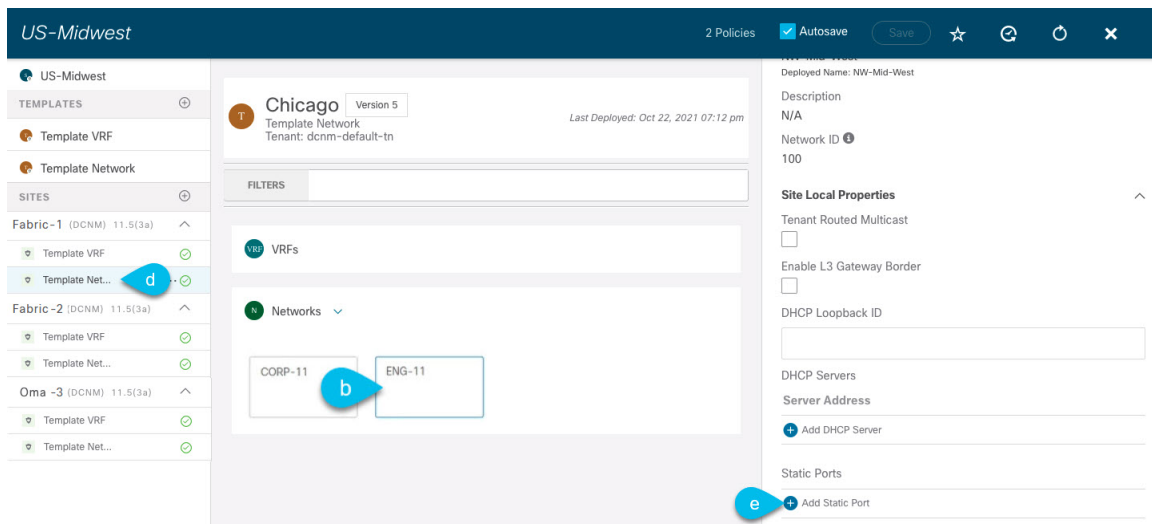
設定が展開されるまで数分かかる場合があります。NDO GUI に確認メッセージが表示されたら、DCNM UI を使用して設定が展開されたことを確認できます。

テンプレートの展開と変更



ステップ4 新しいネットワークにスイッチポートを割り当てます。

これで、Fabric-2 および Fabric-3 からインポートしたネットワークが Fabric-1 に展開されていることを確認しました。Fabric-1 には 1 つ以上のスイッチポートを割り当てる必要があります。



- Fabric-1 でテンプレートを選択します。
- 展開したネットワークを選択します。
- 右側のサイドバーで、[スタティックポートの追加 (Add Static Port)] をクリックします。

表示される [スタティックポートの追加 (Add Static Port)] ウィンドウで、ネットワークの VLAN を割り当てるスイッチとポートを選択します。次に [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ5 テンプレートを保存し、新しい設定の変更で再展開します。

DCNMGUIに戻り、[Networks]ページを更新することで、変更を再度確認できます。ネットワークのステータスは、NA から In Progress、そして Deployed に変わります。
